

活動報告

所属：摂津ひかり病院
リハビリテーション部
田中 翔

経歴・略歴

2015年に理学療法士免許を取得

2015年4月から2022年3月まで300床の総合病院で
急性期・回復期のリハビリを経験

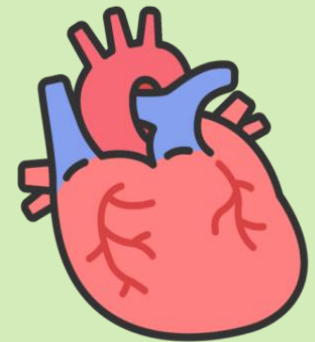
2022年4月より老健に入職し、維持期の入所リハビリを経験

2023年9月より病院へ異動、通所リハビリの責任者
他には入院・外来リハビリを一部担当



活動状況

- ①通所リハビリの責任者として運動前の健康状態の確認や急変症状などに対応
医師や看護師は配置されておらず、助手と療法士でバイタルサインを確認
通所リハビリでは医師の診察は毎回必要なく、初期症状の相談や気づきが多い
- ②入院リハビリではご高齢で慢性心不全の方のリハビリを提供
- ③院外活動として理学療法士協会主催の市民公開講座にて地域住民の声を聞く相談ブースの対応



活動報告（通所リハ）

院内移動50m程度で「**息切れ**」あり、前回利用時はなし。
既往歴は呼吸器疾患や循環器疾患はなく運動器疾患のみで安静時は症状なし。

検脈をすると**脈拍が38回/分**であり徐脈→すぐに常勤の内科医に連絡して受診
心電図の結果、「**完全房室ブロック**」を認め、国立病院へ紹介しペースメーカー植え込み術を施行。

背景として2日前から息切れを自覚するも生涯健康で自信があったことや独居であり指摘する相手がおらず、受診する意思がなかった。

今回の件ではご本人様や娘様より「あの時、声をかけて受診を促してくれなかったら命がなかったので感謝してます。」とおっしゃっていただき直接処置などはしていないが、初期対応は間違っていなかったと実感し循環器病アドバイザーとしてのやりがいを感じた。

最後に

元々は呼吸器、脳卒中、運動器の方を対象にリハビリを提供しており循環器病に関しては経験や知識が乏しく対応に自信がなかった。

今回、循環器病アドバイザーとして新たな知識を得たことで、自信をもって実際の現場で対応できたため、これからもアドバイザーとして地域や後進育成において貢献できるよう自己研鑽していきます。